

B CIAO!! QUAD LINE OUTPUT **BASTL INSTRUMENTS**



CIAO !! **取扱い説明書**

(株)アンブレラカンパニー

www.umbrella-company.jp

* この取扱説明書は株式会社アンブレラカンパニーが正規に販売する製品専用のオリジナル制作物です。

無断での利用、配布、複製などを固く禁じます。

CIAO!!

quad line output & headphones amp

Ciao!!(Ciao2)は、高品質でローノイズなパーツとレイアウトでデザインされた、コンパクト(5HP!)でパフォーマンス重視のアウトプットモジュールです。

モジュラーシステムの信号をレコーディングやライブパフォーマンスに最適なレベルで出力できるだけでなく、ヘッドホンアンプも備えています。

2系統のステレオ・ライン出力(A/B)があり、それぞれ個別のレベルコントロールを備えています。さらにMIXスイッチでBチャンネルをAチャンネルにステレオミックスが可能。これはパフォーマンス時のプリ・リスニングや、ステレオミキシングなどにとても便利です！もちろんクリップインジケータも備えています！

チャンネルAは6.3mmの標準フォーン（バランス）出力が装備され、ノイズを最小限に抑え、最大限のクオリティでサウンドシステムに信号をアウトプットできます。チャンネルBの出力は3.5mmステレオジャックです。専用のヘッドホン出力は高出力設計で、セレクトスイッチでAまたはBチャンネルをセレクト可能です。モノラル信号を入力する場合はLEFTチャンネルだけに入力すればRIGHTチャンネルにもノーマライズされる使い勝手の良いデザインです。

パフォーマンス性に優れ、クオリティも抜群、さらにコンパクトな5HP設計。BASTLならではの多機能なアウトプットモジュールです。

Features

- 2系統のステレオチャンネル（4つの入力 A LEFT、A RIGHT、B LEFT、B RIGHT）
- 内部でモノ→ステレオ変換（LEFTチャンネルのみに入力すると自動でL/Rchの両方に信号がフューードされる）
- チャンネルA：6.3mm 標準フォーン（バランス）ステレオ出力（L/R独立）
- チャンネルB：3.5mm ミニステレオ出力（ステレオ/TRSジャック）
- 各ステレオ・チャンネル個別のボリューム・コントロール
- ヘッドホン出力（ステレオ/TRSジャック）
- ヘッドホンに送るソースを選択可能（A or B）
- ステレオミックス/

- MIX スイッチ：チャンネル B をチャンネル A にステレオミックスして出力可能
 - クリップ・インジケータを各チャンネルに装備
 - 基板上のジャンパでノーマライズパスを変更可能
-
- 5HP
 - 本体側 10 ピン / ラック側 16 ピン（接続ケーブル付属）
 - D=約 29mm
 - 消費電流： <120 mA（ヘッドホン未使用時）, <190 mA（ヘッドホン使用時の最大値）
 - 入力インピーダンス：100k Ω
 - 出力インピーダンス：220k Ω
 - ヘッドホンインピーダンス：8-250 Ω

!! POWER !!

《重要な注意事項》

本モジュールをユーロラックの電源フレームラックに組み込む場合には、必ず電源ケーブルを電源フレームラックから抜いた状態で行ってください！また接続には必ず付属のリボンケーブルをご使用ください。接続する際はコネクタを接続する向きを絶対に間違えないように、細心の注意を払ってください。必ず複数回確認し、間違いないことをお確かめいただいてから接続するようにしてください。

赤いケーブルがモジュール、バスボード共に-12V側です。

以下を再度ご確認ください

- 1、ラックがユーロラック規格の標準的なものか？
- 2、+12V、-12Vレールのバスボード規格か？
- 3、電源レールは最大の消費電流を超えていないか？

BASTL INSTRUMENTSの製品にはPTCヒューズとダイオードによる保護回路を搭載していますが、間違った接続や使用によるダメージはユーザーの責任となりますので、よくご確認の上でご利用ください。また電源が入った状態で回路や電源バスを手で触れることは、たいへん危険ですので、くれぐれもご注意ください。

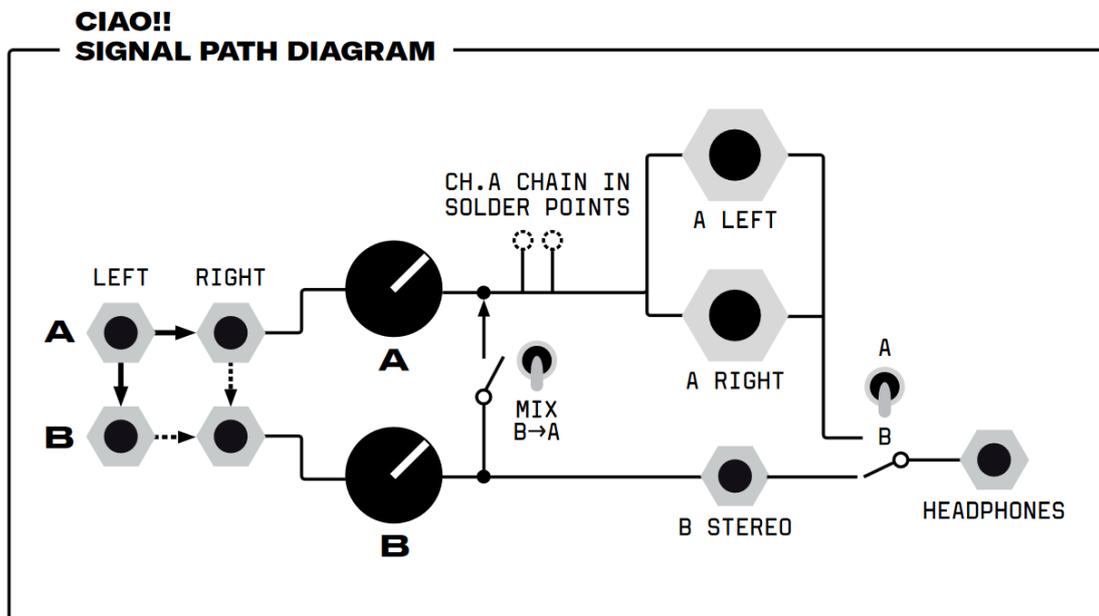
Introduction

Ciao!!!のシグナルフローはシンプルですが良く考えられています。

チャンネルAとBから入力を受け、レベルノブでラインレベルに減衰させ、チャンネル出力から出力します。

ヘッドフォン出力には、どちらのチャンネルを聴くかを選択するスイッチがあり、チャンネルBをチャンネルAにブレンドするMIXスイッチもあります。

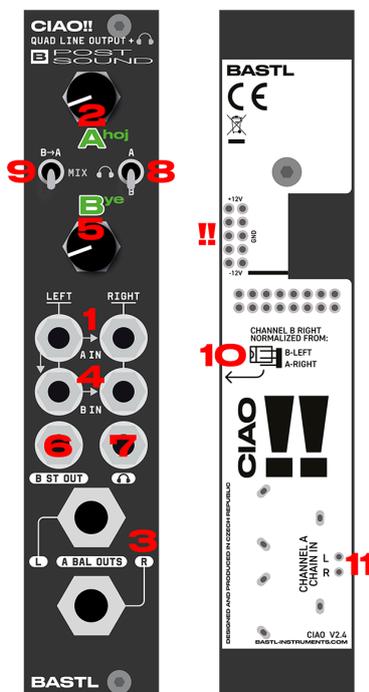
インプットは巧妙にノーマライズされており、モノシグナルでも簡単にパッチングできます。



- A-RIGHTとB-LEFTは常にA-LEFTからの信号にノーマライズされています
- B-RIGHTは B-LEFTまたはA-RIGHTのどちらからにノーマライズされることができます

Instruction

*以下の操作説明は、各イラスト図（フロントパネル、基板）の番号に対応しています。



① A IN

LEFT A IN は RIGHT A IN にノーマライズされます。つまり、両チャンネルを接続しない限り、左チャンネル A は右チャンネル A にコピーされ、チャンネル A 出力はデュアルモノ信号となります。

② A LEVEL (INDICATION)

A (Ahoj) ノブでチャンネル A の左右インプットのレベルを設定します。

Ahoj ラベルの緑色のライトは信号の存在を示し、赤色のライトはラインレベルオーディオの標準である 1 ボルト以上の信号を送っていることを示します（ただし、この時点ではまだ Ciao! モジュール内部でクリップしているわけではありません）。これは、インプット・レベル・コントロールで減衰させないと、シグナル・チェーン以降のライン・レベルのデバイスがクリップする可能性があるという警告を示しています。

③ A BAL OUTS

専用レベルノブで信号が減衰された後、左右のチャンネル A シグナルはバランス出力 A BAL OUTS に送られます。最もノイズのないクリーンな信号を得るには、バランス 6.3mm (1/4 インチ) TRS ケーブル

で送出側の機器とバランス接続してください。A BAL OUTS はアンバランスの TS ケーブルにも対応していますので、TS/TRS のどちらでもご利用いただけます。

注意：ステレオ入力に A BAL OUTS を絶対に接続しないでください（逆位相になります）。

④ B INPUTS

チャンネル LEFT B IN は RIGHT B IN にノーマライズされます。つまり、両方のチャンネルを接続しない限り、左チャンネル B は右チャンネル B にコピーされ、チャンネル B 出力はデュアルモノ信号となります。

同時に、チャンネル LEFT A IN も LEFT B IN にノーマライズされ、チャンネル LEFT B IN に何も接続しない場合、左チャンネル A の信号が左チャンネル B の入力にコピーされます。

注意：デフォルトの LEFT B IN から RIGHT B IN へのノーマライゼーションの代わりに、モジュール背面のジャンパーを使用して RIGHT A IN をノーマライゼーション・ソースとして選択することができます。後記するパッチ例をご参照ください。

⑤ B LEVEL

B (Bye) ノブでチャンネル A の左右インプットのレベルを設定します。

Bye ラベルの緑色のライトは信号の存在を示し、赤色のライトはラインレベルオーディオの標準である 1 ボルト以上の信号を送っていることを示します（ただし、この時点ではまだ Ciao! モジュール内部でクリップしているわけではありません）。これは、インプット・レベル・コントロールで減衰させないと、シグナル・チェーン以降のライン・レベルのデバイスがクリップする可能性があるという警告を示しています。

⑥ B OUTPUT

レベルノブで減衰された後、左右のチャンネル B シグナルは B ST OUT に送られます。この出力は 3.5mm (1/8 インチ) TRS ステレオケーブル用に設計されています。ヘッドホンでも使用できます。

⑦ HEADPHONE OUTPUT

この出力にヘッドホンを接続します。チャンネルのレベルノブで音量を設定してください。

⑧ HEADPHONE SELECTION SWITCH

トグルスイッチでヘッドホン出力に送られるチャンネル(A または B) を選択できます。

⑨ MIX B→A SWITCH

このスイッチが上のポジションの場合、LEFT B IN は LEFT A IN に、RIGHT B IN は RIGHT A IN にミックスされます。ステレオミキシングを行いたい場合や、ヘッドホンでチャンネル B をプリリスニングしたい場合（MIX スイッチを下のポジション）になど利用できます。

⑩ NORMALIZATION JUMPER

デフォルトでは、LEFT B IN は RIGHT B IN にノーマライズされています。しかし、場合によっては、RIGHT A IN を RIGHT B IN にノーマライズした方が便利な場合もあるでしょう。そのような機能が必要な場合は、ジャンパーを交互の位置に移動し、ジャンパーヘッドの中央と下のピンを接続します。

⑪ MIX-IN HEADERS

DIY 用のヘッダー：これらのヘッダーを使用して、他のステレオモジュール（BUDDY など）からのシグナルをチャンネル A にミックス することができます。

これを行うと合計 3 つのステレオ信号をチャンネル A にミックスすることができます！

PATCH TIPS

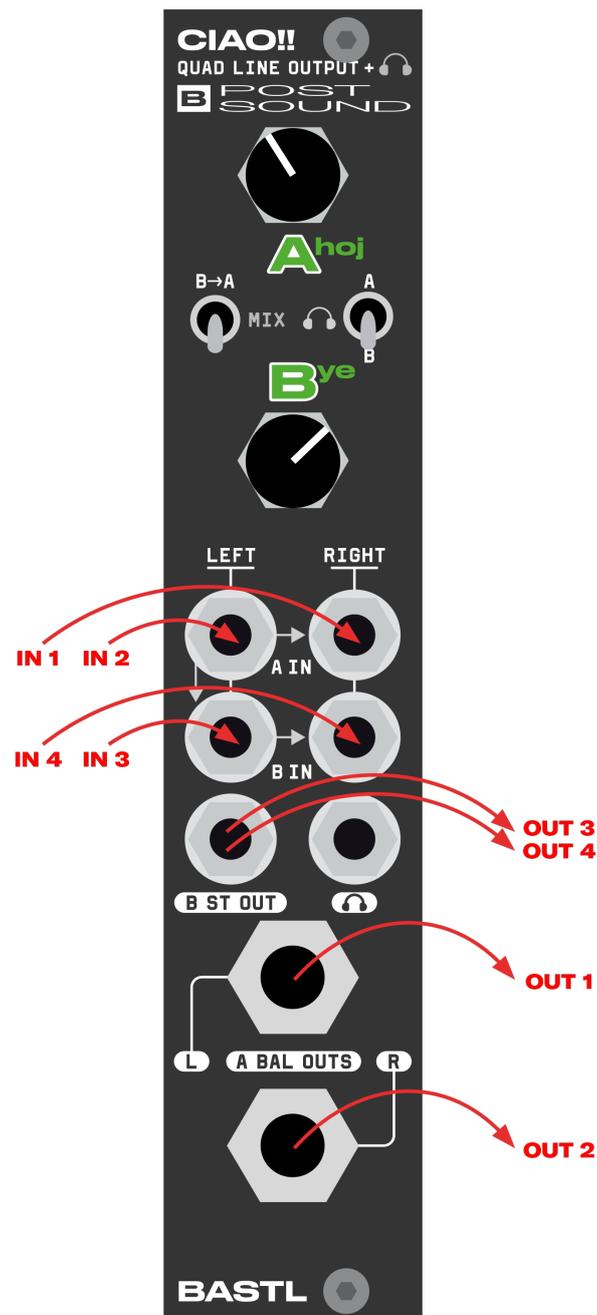
ヘッドホンでのプリリスニング

MIX B→A スイッチとヘッドホン・スイッチを組み合わせると、スピーカーを A 出力に接続した状態で、ヘッドホンの B IN に接続された信号をプリリスニングすることができます。MIX B→A スイッチを下げると、ヘッドホンで B 信号のみを聞くことができます。B 信号をメイン出力にミックスするには、スイッチを上へトグルするだけです！



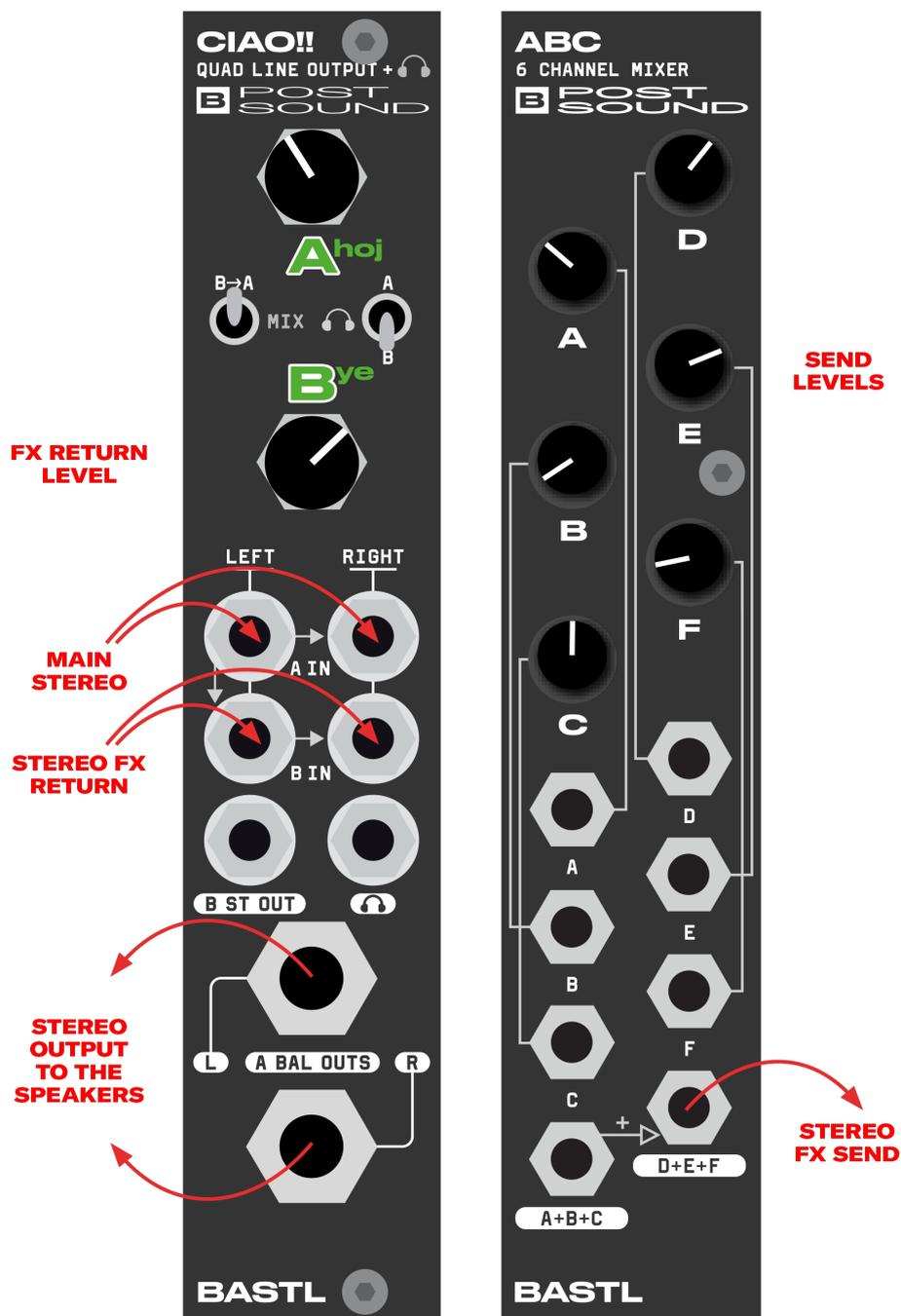
クアッド・ライン出力

4つのチャンネルを独立して録音したいような場合、4つの信号を4つのインプットに接続し、A BAL OUTSを2系統のライン出力として、B ST OUTをもう2系統のライン出力として使用します。両方のスイッチの位置を確認してください。



ステレオ FX リターン

チャンネル A のステレオ信号に、チャンネル B のステレオ信号を簡単にミックスすることができます。これは、サブミキサーをエフェクトユニット（ラック内または外部）への Aux センドミキサーとして使用する場合にとても便利です。B IN と B チャンネルの LEVEL ノブは、ステレオ FX リターントラックとして使用することが可能です。



シングルステレオ入力、デュアルヘッドホン出力

B ST OUT を 2 つ目のヘッドホン出力として使用できます。

同じ音源をヘッドホンでモニターしたい場合など、B ST OUT を第 2 のヘッドホン出力として利用できます。

- ステレオ信号を A IN に接続します。
- ヘッドホンのスイッチを A の位置にします。
- MIX B→A スイッチを切ります。
- ヘッドホン出力にヘッドホンを 1 組接続し、A ノブでレベルを調整します。
- もう 1 組のヘッドホンを B ST OUT に接続し、B ノブでレベルを調整します。

注：対応するステレオ・ノーマライゼーションを行うには、背面のジャンパーを A-RIGHT の位置に設定する必要があります。



シングル・ステレオ入力、ヘッドホンとスピーカーのボリュームを個別コントロール

- ステレオ信号を A IN に接続します。
- ヘッドフォン・スイッチを B ポジションにします。
- MIX B→A スイッチを切ります。
- スピーカーを A BAL OUTS に接続します。
- A ノブでレベルを調整します。
- ヘッドホンをヘッドホン出力に接続します。
- ヘッドホンをヘッドホン出力に接続します。

注意：適切なステレオ・ノーマライゼーションを行うには、バック・ジャンパーを A-RIGHT の位置に設定する必要があります。



CREDITS

DEVELOPMENT TEAM: Václav Mach, Martin Klecl,
Václav Peloušek

MAIN TESTERS: Juha Kivekäs, John Hornak

BETA TESTERS: David Žáček, Milan Říha, Jiří Březina,
John Dinger, Patrik Veltruský, Tomáš Niesner

MANAGEMENT: John Dinger

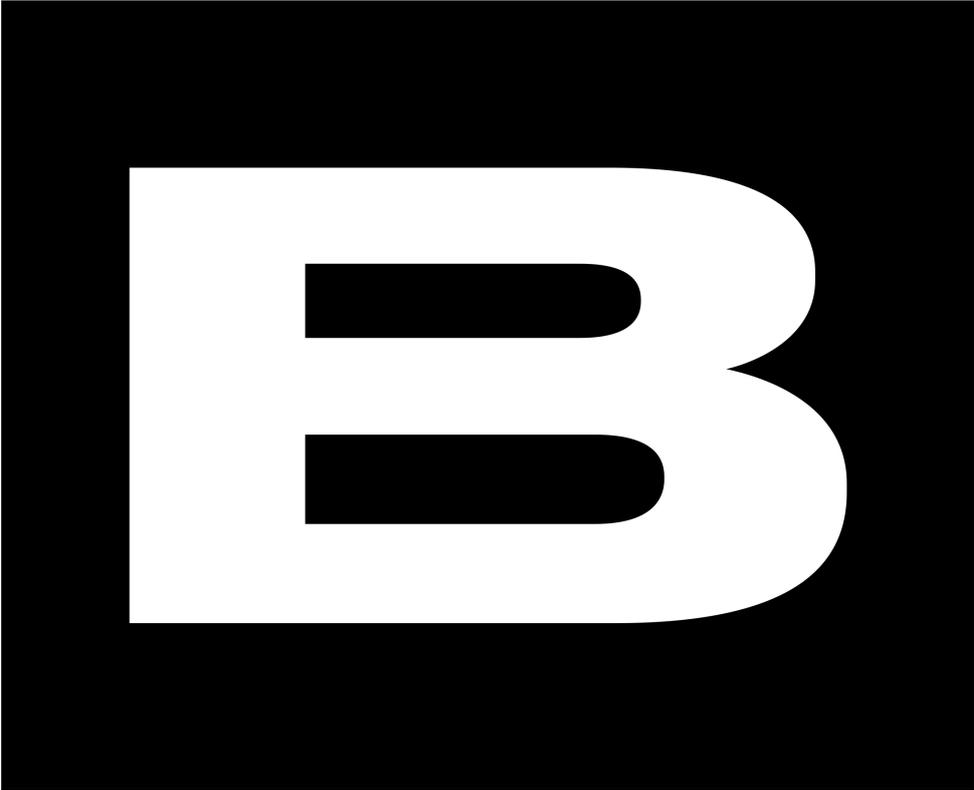
GRAPHIC DESIGN: Anymade Studio

The idea turned into reality thanks to everyone at Bastl
Instruments and thanks to the immense support of our fans.

BASTL

more info
and video tutorials

www.bastl-instruments.com

A large, bold, black letter 'B' is centered within a white square. The 'B' has a thick, rounded top and a slightly irregular, hand-drawn appearance. The white square is set against a solid black background.